

グローバル・ハウスにLPガス仕様燃料電池システムを3台設置 ～本日、開幕！ 愛・地球博～

記者各位

当社(社長:渡 文明)は、2005年日本国際博覧会(以下、愛・地球博)にLPガス仕様燃料電池システムを3台提供し、2005年日本国際博覧会協会のテーマ館であるグローバル・ハウスのエントランス付近に2台、「マンモスラボ」出口付近に1台設置しましたのでお知らせ致します。

エントランス付近に設置した2台は、当社が展示するオブジェの「銀河時計」および「浮かぶ地球」を駆動する電気・熱を供給しています。また、「マンモスラボ」出口付近に設置された燃料電池はグローバル・ハウスの電源として電気を供給しています。「地球環境との調和」を社員の行動規範のひとつとしている当社は、「自然の叡智」をテーマとする愛・地球博に協賛することで、環境先端企業として社会に貢献したいと考えています。

燃料電池は、温暖化ガスの大半をしめる二酸化炭素(CO₂)の排出量を削減することができ、また、大気汚染や酸性雨の原因となる硫黄酸化物(SO_x)や窒素酸化物(NO_x)をほとんど排出しないため、環境にやさしい次世代のエネルギーシステムです。当社は、本年3月1日よりLPガス仕様家庭用燃料電池システム「ENEOS ECO LP-1」を商品化し、燃料電池の普及への取り組みを本格的に開始しております。2005年度は、関東圏1都10県に150台を設置する予定です。

記



「銀河時計」



「浮かぶ地球」



「マンモスラボ」出口付近

2つのオブジェの概要

(1)銀河時計

私たちの世界は、さまざまなリズムを刻んでいます。銀河系は2億年で一回転し、太陽系の惑星は短いものは約3ヶ月、長いものは約250年以上の周期で太陽の周りを巡っています。この銀河時計は、そうした私たちを取り巻くさまざまなリズムのなかでも、もっとも私たちの生活や環境と関わりが深い、太陽を巡る周期を表現しています。

銀河時計は、燃料電池によってつくられた温水の熱を利用して回転しています。また、電気は銀河時計の照明と動力の一部に利用しています。

(2)浮かぶ地球

私たちは宇宙から地球を眺めるようになって、さまざまな角度から地球を眺めることができるようになりました。見る方向によって地球はいろいろな顔を見せてくれます。空中に浮かんでくるくるまわる姿は、私たちに、これまで気づかなかった地球の一面を見せてくれるかもしれません。

浮かぶ地球のボールは、下から吹き上げる空気の流れの中に浮んでいます。この空気の流れは、燃料電池でつくられた電気でもーターを動かして作っています。

ENEOS ECO LP-1の仕様

- (1)定格発電容量 750W
- (2)エネルギー効率発電効率 34%(LHV*)
熱回収効率42%(LHV*)
- (3)貯湯槽容量 200リットル

(4)機器
(5)外観

燃料 LPガス



左:発電ユニット:幅1.0m 高1.0m 奥行0.45m
右:貯湯ユニット:幅0.75m 高1.9m 奥行0.44m

* LHV: Lower Heating Valueの略称。

以上